



新規就農者の
経営発展の鍵は、

コミュニティ形成にあり

新規就農者
Pick up

FARMERS FILE 006 >>> 東京都日の出町 野崎 智経さん [TOM'S FARM]

東京は新規就農に とてもよい場所

新規就農して3年目になります。最近東京都の新規就農定着支援事業を活用して、施設、水道、機械を導入することができました。やっとスタート地点に立てたと感じています。東京は技術指導、補助金、経営計画など、各専門機関の手厚いサポートがあるので、真面目に農業をやってみたいという人達にはとてもよい場所だと思います。

「デジタル×アナログ」 「東京×農業」の面白さ

海外で10年近く生活してから日本へ戻り、東京でIT業界に勤めていた時に、江戸東京野菜の存在を知りました。デジタルの世界からアナログ、東京と農業というマッチングが面白いと就農を考えるようになりました。

新規就農者の集まりに参加しているうちに、瑞穂町に農場のある農業法人を都農業会議から紹介してもらい、農業を仕事にしながら学ぶという生活がはじめました。法人には私より若い農家の

後継者や、新規就農を目指す仲間がいたので、農業を学ぶだけでなくこれから農業経営などを話し合ってきました。今でも連絡を取り合って情報交換をしています。

2年が過ぎた頃に農業会議や普及センターの支援を受けながら、事業計画書を作成し、日の出町の農家の方々の所で短期研修を受けた後に、新規就農が決まりました。



周年栽培の小松菜で 東京都GAPの認証を取得

経営の主軸は小松菜の周年栽培で、地元の直売所で買っていただけるお客様が段々と増えてきています。常に良い品質のものを安定的に出荷できるように励んでいます。

農地の確保は町役場の担当者や地元の方、補助金等は日の出町、東京都、JAなどにご協力いただいています。

第三者の視点を入れてルールや基準を設けた上で農業経営を行いたいと思い、都内新規就農者では初の「東京都GAP」の認証を取得しました。農業はひとりでコツコツの生活よりは、各関係機関のサポートを積極的に受けることが経営向上のカギだと感じています。

事前準備段階が重要 農業の可能性は大

新規での就農はとにかく費用がかかります。他の業種と同じく新しく事業をはじめるということなので、開業資金をどれだけ集められるかが特に重要だと思います。

しかし、一步足を踏み入れたら自分で生産したいものや作業時間も決定できますし、様々な売り先、売り方もあるので色々な可能性のある世界が見えてくるのではないでしょうか。

